

灯下親しむの好季を迎え、本誌も三十六号を数えることとなりました。本号は「祖山学院創設五〇周年記念号」として、特に発刊されることになったものであります。

本学の開創は、遠く弘治二年延山十四世日鏡師の「西谷善学院」に発するのでありますが、大正三年文部大臣の認可を得て、「祖山学院」と改称され、爾來、「身延山専門学校・祖山中学」の時代を経て、今日「身延山短期大学・身延山高等学校」に至るまで、半世紀の星霜を進展して来たのであります。

此の間、時代の推移と共に幾多の変遷があったとは言え、常に宗祖樓神の道場として、宗門の子弟育成に多大な足蹟を残してまいりました。

本誌「樓神」も、また祖山に於ける口蓮教学の研鑽・機関誌として、戦時中やむをえず一時休刊しましたが、復刊後は再び着実な歩みを進め、その成果をあげております。

十月五日本学に於て、五〇周年記念式典と同窓会大会が挙行されましたが、これを契機として、更に本学の隆盛と、本誌の発展に諸賢の御支援を願ってやみません。

(上田・記)

樓神 第三十六号

昭和三十七年十月一日 印刷
昭和三十七年十月五日 発行

編集者

里見泰穩

発行者

松木本興

印刷者

宮田如竜

印刷所

甲府市錦町
大宣堂印刷

山梨県身延山
発行所 身延山短期大学学会
振替(甲府)一二七五番